



第148号

編集発行

愛知学院大学
事務局 企画広報課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町

阿良池12

電話 <0561>73-1111代

創立一三〇周年を迎え

一層の飛躍、発展を！

学 院 長 小 出 忠 孝

新年明けましておめでとう
ございます。平成十八年の新
春を皆様にはお健やかに迎
えられたことと、心よりお慶
び申し上げます。

愛知学院は本年創立一三〇
周年の記念すべき年を迎え、
当地区でもっとも古い歴史と
伝統をもつ私学となっていま

す。また大学は開学五二年と
なりますが、戦後の混乱がま
だ治まらない時に、将来の高
等教育の重要性を予見して、
県内でもっとも早く新制大学
を創設し、以来私大のリーダ
校として活躍しています。こ
の五二年間に本学は飛躍的に
発展し、現在文・心身科学・

商・経営・法・総合政策・薬・
歯の八学部十五学科、大学院
七研究科とロースクール、短
大二学科に学生一万一千名を
擁する中部地区で最大級の規
模と内容を誇る、私立の総合
大学となっています。その結
果、本学は中部地区は勿論、
全国的にも主要大学の一つに
数えられ、本学の社会的責任
は大となっています。

優れた人材の養成

一方廿一世紀を迎えわが国
社会は、新しい知識・情報・
技術が、社会のあらゆる分野
で活躍の基盤として重要性を
増す「知識基盤社会」が進展
し、高等教育の使命は益々重
要となつてきます。特に物的
資源を持たないわが国では、
廿一世紀の知の時代をリード
する、優れた人材が最大の資
源であり、わが国社会が活力
ある発展を続けるために、そ
の人材を養成する大学の使命
は極めて大であります。なか
でも高等教育の七五パーセン
トを担う私立大学は、建学の
精神に基づき個性豊かで、特
色ある教育研究を行う高等教
育機関として、社会の期待に
応えていかねばなりません。

総合政策学部の開設

本学では近年の情報化、国
際化、高齢化等、社会の急速

私大研究高度化推進委員会

委員長に小出学長任命される

私立大学の学術研究の高度化を図るため、重点的予算支
援を行う文科省の私大研究高度化推進委員会の委員長に、
小出学長が任命された。従来の医歯系小委員会主査を兼ね
て全体委員会の委員長として、プロジェクト選定、一八三
億の予算の重点的配分を行う学長の責任は極めて大きい。

な変化に対応し、学部学科の
新設、改組転換を毎年実施し、
社会に役立つ人材を育成して
きました。本年も新たな躍進
に向け、新学科を今春開設し
社会の要請に応えんとしてい
ます。その一つは総合政策学
部の開設で、廿一世紀の知識
基盤社会で広く政策提言の出
きる人材を育成し、社会の進
展に積極的に貢献せんとする
ものです。より住みやすい市
民社会をめざし政策提言を行
う「総合政策専攻」と、より良
き人生をめざし政策提言を行
う「ライフデザイン専攻」の二
専攻を有し、その政策提言の
出来る人材を育成します。さ
らに学生の将来設計の明確化
をめざし、キャリア・デザイ
ン科目も充実させ、就職率一
〇〇パーセントを目指します。

医療系学部の充実

昨春新設した薬学部は大変
好評で、入試偏差値で名城大
を抜いて当地区トップとなり、
全国的にもレベルの高い薬学
部とランクされています。今
春より法改正により、六年制
薬学部としてスタートします
が、人間性豊かで高度の専門
的知識と技能を、身につけた
臨床薬剤師を養成します。昨
秋橋元校地に八階建薬学部棟
も完成し、今春から二年生の
専門教育、実習を開始します
が、わが国でトップレベルの
薬学部を目指します。

また文科省へ認可申請中の
短大部歯科衛生学科が昨年暮
に認可され、今春より三年制
短大として発足します。歯科
衛生士教育で日本一の実績を

大学全入時代

しかし現在私学を取り巻く
環境は非常に厳しくなってい
ます。今年は「二〇〇六年問
題」と言われた新学習指導要
領で教育を受けた、学習内容
の減少した新しい世代の学生
が進学してきます。さらに進
学率五〇パーセントという入
試の易化により、厳しい入試
の選抜はありません。この様
な学生の中には学力の低下、
学習意欲の低下、また学習目
的の明確でない学生も少なく
なく、学習指導上色々な問題
を生じてきます。また十八才人
口減少に伴ない来年二〇〇七
年には、大学志願者と入学者
が一致する「大学全入時代」
が到来します。昨年度すでに私
立大学一六〇校、二九・五パー
セントが定員割れとなり、さ
らに今後の高卒人口の減少に
伴ない定員割れ校は増加して
きます。その上国立大学法人
や私大上位校が定員以上に学
生を入学させる傾向にあり、
そうならば半数以上の大学が
定員割れとなり、経営困難校

年頭に思う 心豊かで たくましい人間形成を



水谷 敏治 会長

後援会長 水谷 敏治

新年明けましておめでと
うございます
大学関係各位、大学後援
会会員の皆様には二〇〇六
年の新春をつつがなくお迎
えのこととお慶び申し上げ
ます。

さて昨年当地区では中部
国際空港が開港し、さらに
二十一世紀最初の国際博覧
会、「愛・地球博」が開催
され、利便性が高まると共
に、地域の活性化、経済の
活性化に大きな効果をもた
らし、他地域と比べ元気が
がクローズアップされまし
た。

然しながら日本の経済は、
依然として厳しい状況にあ
ると思いますが、徐々に回
復傾向にあり、二〇〇六年
は明るさが増してくるので

から破綻校も出現してきます。
最近の新聞の調査によると、
今後五年間に破綻する私立大
学は四一校（十二校に二校）
と報告されており、私立大に
とって極めて厳しい状況とな
つてきます。この様な状況に
対し、日本私学事業団では「学
校法人活性化・再生委員会」
を設置し、経営困難の学校法
人の状況を分析し、経営破綻
を克服する方策を検討し始め
ました。私学の経営破綻が現
実の問題となつていきます。

教育力の向上

一方昨年から独立法人化し
た国立大学は大きく改革を進
めています。中でも教育を
重視し学生の視線に合わせた
教育内容の充実と全力をあげ
ている事は、私学に大きな脅
威となつていきます。私学が国
立大以上の教育力の向上に努
めないと、国立大に大きな差
をつけられ、社会からの信用
も低下してきます。
この様に私学にとって大変
厳しい環境の中で、如何に努

力し難局を乗り切るかが、私
共に課せられた課題です。こ
れからの、誰でも何時でも学
ぶ事の出来るユニバーサル・
アクセス時代の大学では、教
員の意識改革により教育の内
容・方法を改善し、学生の学
力向上、質の保証に努める事
が重要です。そのため「学生
に分かり易い授業」を本年も
モットーと掲げ、全学あげて
教育力の向上に努めることを
最大の課題と致します。全教
職員の協力をお願いします。

さて、最近二トという
言葉が立法・行政・マスメ
ディアを中心に話題となつ
ています。
職についていず、学校機
関にも所属せず、そして
就労に向けた具体的な動き
をもしない若者をさし、そ
の数は六十八万人と言われ
ています。核家族、社会構
造並びに環境の変化等様々
な原因があると思いますが、
精神的な心の欠如により自
立できないのではないでしょ
うか。厚生労働省事業であ
る若者自立塾が本格的に昨
年から始動したそうです。
さいわい愛知学院大学は
開学以来「行学一体」「報
恩感謝」を建学の精神とし
て、学業はもとより人格形
成にも力をいれていますの
で、当大学からは二トと
呼ばれる者はないと確信
しております。
学生諸君には今一度建学の
精神をよく理解し、感謝
ができ、感性を身に付け、
人を思いやる、心豊かでた
くましい人間に成長される
事を念じてやみません。
本年も皆様にとつてすば
らしい年になりますよう心
よりお祈り申し上げます。新春
のご挨拶といたします。

平成18年4月新設

薬学部医療薬学科 (6年制)

総合政策学部総合政策学科 (名称変更)

短期大学部歯科衛生学科 (3年制)

本学では、来年4月に薬学部(医療薬学科)が6年制へ移行、情報社会政策学部(情報社会政策学科)を総合政策学部(総合政策学科)へ改組する。また、文部科学省へ設置認可申請中であった短期大学部歯科衛生学科に12月5日付で設置許可が下り、さらに教育内容を発展させることとなった。

薬学部は、薬剤師法の改正により来年度から6年制となる。この2年間の延長にともない、「一般教育の充実」「医療薬学の充実」「実務実習の大幅延長(4週から24週へ)」など、専門領域の知識と見識の修得とともに、患者さんや医療スタッフとの信頼関係を築くためのコミュニケーション能力や心の教育にも力を注ぎ、実践力と思いやりの心を

兼ね備えた薬剤師の育成をめざす。最新かつ高度な設備をもつ薬学部棟の完成を迎え、教育内容・環境ともに充実が図られた。

総合政策学部は、情報社会政策学部を母体として新しく生まれ変わる学部である。これまでの教育実績や教育支援体制を基として、総合性を残しつつも専門性を明確化したカリキュラム構成となっており、より良き市民社会をめざしての「総合政策専攻」と、より良き人生をめざしての「ライフデザイン専攻」の2専攻から成っている。また、これまでの全国平均を大きく上回る就職実績(平成16年度就職決定率97%)を具現化した支援体制をより強化すべく、1年次から4年次まで一貫してリサーチ・プロジェクトI



善家幸敏 名誉教授

善家幸敏名誉教授
瑞宝中綬章受賞

善家幸敏名誉教授が、長年の教育研究功労により瑞宝中綬章を受けた。同教授は大正14年8月1日生。早稲田大学大学院(旧制)修了。昭和32年4月法学部設置に伴い、早稲田大学から法哲学の専任講師として同35年に着任。同39年に助教授を経て同46年に教

授就任。同47年から法学部長を4年間勤め、その後宗教法制研究所所長、学生部長、法学研究科科長など、学内の要職を歴任された。研究面では、法哲学という法律のなかでも極めて根本的な分野の研究対象にされ、法と道徳、法の構造など法の本質について研究成果を上げられ、著書「法の根本問題」を発表。更に、法の思想史、法と宗教にも研究対象を拡げられた。学外においては20年近く家裁調停委員、裁判所参与員として名古屋の司法界に貢献された。

柳澤幾美氏に
本学から博士(文学)の学位授与

柳澤 幾美 氏

柳澤幾美氏に、本学から平成17年11月2日付で博士(文学)の学位が授与された。同氏は、昭和32年生まれ。平成12年3月本学大学院文学研究科英語圏文化専攻博士後期課程満期退学。同年4月同研究

米の日本人男性が日本にいる女性と写真交換することによって成立した「写真結婚」によって呼び寄せられた「写真花嫁」の全体像を明らかにすることをめざした論文である。アメリカの道徳観念から不道徳な結婚として日本人排撃の一因となり、日米両国政府に複雑な外交関係が展開された。この「写真花嫁」に関して始

学位

豊澄智己氏に
本学から博士(経営)の学位授与

豊澄 智己 氏

豊澄智己氏に、本学から平成17年11月2日付で博士(経営)の学位が授与された。同氏は昭和50年生まれ。平成15年3月本学大学院経営学研究科博士後期課程満期退学。同年4月同研究員。

企業の環境経営は、地球環境問題の顕在化に合わせて企業戦略の中核に位置づけられている。環境経営が日々新たな進展をみせる中、環境問題が悪化し、拡大し、しかもグローバル化したことから広がる環境経営が問われるようになった。この問題の解決には、地球環境の保全活動を実施するの不可欠であり、そこでは企業の戦略的環境経営が強調される。本論文の目的は、環境経営について企業競争力の源泉という視点から体系的に見直し、戦略的環境経営のあり方を論じ、競争優位との関連性を実証分析によって明らかにしている。

英語コーパス学会「奨励賞」

伊藤彰浩教授受賞



伊藤 彰浩 助教授

コンピュータを利用した英語文学研究を推進している英語コーパス学会(CEES)が、独創的な研究を行った若手研究者(35歳以下)に贈る「奨励賞」に本学教養部(英語)伊藤彰浩助教授が選ばれた。10月22日に昭和女子大学で開催された秋季英語コーパス学会で贈呈式が行われ、賞状と賞金3万円が贈られた。受賞論文(「口語英語の記述と分析による関係節の難度に関する仮説の妥当性検証」JACET Bulletin 40, pp. 15-27, 2005年3月)は、一昨年、伊藤助教授が客員特別研究員として研究に従事した英国ランカスター大学社会科学部言語学・現代英語

学科における研究成果のひとつである。英語コーパス学会によると、「伊藤氏は受賞論文により、英語コーパス学会の目指す分野で顕著な業績を上げ、コンピュータを利用した英語文学研究の発展に多大な貢献をした」点が評価された。研究論文では、「2000年代以降に心理言語学研究において提唱されたヒトの英語関係節の使用パターンをランカスター大学が開発した莫大な言語データ(コーパス)を利用して、実証的、帰納的アプローチによりパターン分析を行った。英語母語話者が実際に産出した英語を、文中の位置、名詞句の格の種類、そして、その複雑性の程度に着目し分析した結果、難度の低い関係節には多くの単語が付加されるため複雑性が高く、難度の高い関係節には付加される単語が少なく複雑性は低い傾向にあることが示唆された。ここから、伊藤助教授は、関係節は包含される単語を増加させることによって文を複雑にし、言語内容を豊かにする反面、その文を理解したり産出したりしなければならぬヒトが背負う認知的負荷を増加させていると判断。ヒトは、関係節の文中における位置、名詞句の格の種類、そしてその複雑性を上手に変化させることで、必要とされる認知的負荷を一定に保ち、自らが持ちえる処理能力の最大限まで文を複雑化し、言語による意思伝達を内容豊かなものに行っている、と結論した。受賞論文の後続研究は、近年中にベ

国際歯科研究学会 日本部会
学術奨励賞、研究賞を同時受賞

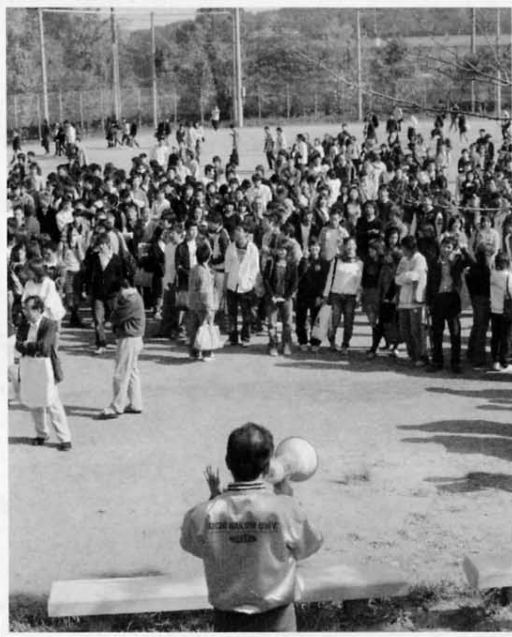
林 達秀 歯学部助手



林 達秀 助手

平成17年11月26、27日に岡山大学で開催された第53回国際歯科研究学会日本部会(ニッポニデンタル学会)大会で、山本照子岡山大学大学院歯学総合研究科顎顔面口腔矯正学分野教授)において、若手研究者の優れた研究に授与される学術奨励賞および歯科材料分野での卓越した研究に授与される研究賞を歯学部 歯科理工学講座 林 達秀助手が同時受賞した。

対象となった発表は「Future Muscular Tissue Differentiate into Cartilage Using BMP in vitro」その研究内容はin vitroにおいて骨形成因子であるBMPを胎仔ラットの未成熟組織に作用させることによって、軟骨組織を分化・誘導させるというもの、再生医療分野に新たな方向性を示唆したことが認められ、今回の受賞となった。本成果の発展は今後、歯科界のみならず再生医療の進展に大いに貢献するもので、若手研究者のホープとして林助手の益々の活躍に期待したい。



地震災害避難訓練を実施 学生、教職員4,500人が参加

震度5強の直下型地震を想定して、地震災害に備えての集団訓練が、平成17年11月8日、本学日進キャンパスで2部に分かれて行われた。第1部では、尾三消防本部の訓練で、近隣地域の消防署、愛知警察署、東名古屋医師会及び支援ボランティアなど約120人が参加して行われた。負傷者の程度を4段階に分けて治療

順位を決めて、応急救護や重傷者は救急車で搬送するなど本番さながらの訓練が繰り返された。

第2部は、本学主催による避難訓練で、学生、教職員約4,500人が参加した。正午に地震発生を緊急学内放送が入り、授業中の学生や、業務中の教職員が一斉に、移動を始めたため一部の通路で渋滞も起きたが、担当の教職員が誘導をつとめたり、事前に訓練実施が通達されていることもあり、指定された3カ所のグラウンドに無事避難した。それぞれのグラウンドで、加藤教務部長、黒神学生部長、宝多キャリアセンター部長から講評が行われ避難訓練を終了した。キャンパス内に2,500台収容できる大駐車場や6カ所のグラウンドを抱える大学は全国でも数少なく、この日進キャンパスは、日進市の災害時の一時避難場所としても指定されている。

また、本学では地震対策として、年次計画で殆どの建物の耐震工事が完了しており、来年度以降も残す教室棟3棟についても順次行っていく予定である。その他、クラッカーや水、毛布なども大量に備蓄し万一の災害に備え防災体制の確立につとめている。

就職活動であるという事は知っておいでほしいと思います。就職活動を行う前に、すでに自己分析などの準備が完了している学生、とりあえず就職情報サイトなどに登録をした学生、まだ何をしたらよいのか分からない学生、など現

06年 就職活動始まる

在の状況はそれぞれだと思えます。

企業の景気が回復基調で、企業の採用状況も今までの売り手市場から、学生優位の買い手市場となつて来ています。昨今の就職戦線の傾向から見ると、早期にたくさんの内定を獲得する学生と、まったく内定を得られない学生の二極化が特徴です。就職活動の基礎的な準備ができていない学生は就職活動に成功しませんが、準備不足の学生は苦戦をしたようです。

そこで、これから就職活動を始めの皆さんに、活動のアドバイスを用意しました。

①早期化という言葉に惑わされるな。

企業の採用活動が早期化していますが、「採用活動、就職活動の早期化」という言葉に惑わされないようにしてください。早く内定をもらっても、ゆつくり内定をもらっても、どちらでもいいのです。大切なことは自分が納得できる仕事、会社に出会えたかどうか

何ができるのか、何がやりたいのか、じっくりと。自分の将来をしっかりと考えよう

ついに就職活動のシーズンが来ました。05年は景気回復基調を受けて、企業の採用意欲が高まり、久しぶりに採用枠が広がり、求人ブームに沸いた採用でありました。しかし企業の現状を振り返ると、企業の方針は厳選採用で質を落とすまで採用はしない、というものでした。本格的な採用ブームになったのは確かですが、依然として就職活動であるという事は知っておいでほしいと思います。



パジャジャラン大学と 姉妹校締結

本学とインドネシア・パジャジャラン大学は教育文化両面の利益が相互にもたらされるという共通認識のもと、学生及び研究者の交換を実現するため協定を結び、平成17年11月15日、本学日進キャンパス本部棟第2会議室にて姉妹校締結調印式が行われた。調印式にはパジャジャラン大学からヒメンドラ・ワルガハディブラタ学長、ラムダン・パニゴロ国際交流部長、アグス・スヘルマン・スルヤディムリヤ氏、本学からは小出学長をはじめ14人が出席した。パジャジャラン大学はジャカルタの東、バンドン市に昭和31年に設立され、学生数約17,000人を擁し、法学部、経済学部、薬学部、歯学部、芸術学部など、11の学部がある国立の総合大学。

うかがい肝心です。そのために就職活動を始めこの時期に、自分の将来をしっかりと見据え、足場を固めてください。自分が本場にやってみてみたい、チャレンジしてみたい仕事、働きたい会社を見つけていることが肝心です。内定をもらうことだけを目標にしないことです。

②キャリアセンターを大いに活用しよう。

これからの就職活動で、相談相手が必要になります。そんな時は、キャリアセンターの担当者をお願いすることをお勧めします。年々キャリアセンターを活用する学生が減少傾向にあり、残念です。キャリアセンターでは、OB・OGとの交流や企業の人事担当者や就職活動で大切なことをお伝えします。比較的早い時期に企業の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。こうした機会もキャリアセンターに足を運ばなければ、知ることはできません。積極的に活用しよう。

③学内セミナーに積極的に参加しよう。

学内で開催されるセミナーを、企業の採用担当者からかなり重要視しています。2月という早い時期に多くの学生と面談する機会が増え、自社の紹介を直接行い、そこでどのような興味、イメージを持ってもらえるかが、一関心のある企業へのひとつに加わることが可能だということです。これは学生諸君にとっても同様で、その企業がどのような職種、人材を求めているのか、採用活動の流れ、OB・OG社員の有無など多くの情報が入手できます。複数の企業を比較でき、遠方まで足を運ばなくても、企業が大学に向いてくれる学内セミナーは就職活動の中でも重要な機会です。

④OB・OGに会おう。

OB・OGの探し方で、一番手取り早いのは、キャリアセンターのOB・OG名簿です。就職先や連絡先が名簿に記載されているOB・OGは企業のリクルーターであったり、学生への良いアドバイザーでもあります。積極的にアプローチしてみよう。

最近個人情報保護法との兼ね合いで、OB・OGを紹介してくれない企業が増えていきます。でも会いたいOB・OGを探して、話を聞くこと自体が社会人としてのコミュニケーションの場として貴重な経験が積めます。ぜひ多くの先輩、社会人に会って自身の社会観・職業観を培ってください。

⑤社会人の実際の姿を確かめよう。

就職活動で大切なことは、納得のいく仕事・企業に出会うことです。そのためには実際に働いている社会人の姿を自分の目で確かめることが大切です。インターネットでの情報は、あくまでもバーチャルなものです。内定をもらうためには効率がよく、確かに便利かも知れませんが、もっとリアルティを大切にして、OB・OGや社会人から得られる情報を吟味してみよう。

公認会計士合格

平成元年以後、本学出身者、届出分のみ

齋藤 誠氏(天学院法務研究科5年修了)
近藤英彰氏(天学院法務研究科5年修了)
近藤雅仁氏(天学院法務研究科5年修了)
坂口弘幸氏(天学院法務研究科5年修了)
桑原理加氏(天学院法務研究科5年修了)
工藤玲司氏(天学院法務研究科5年修了)
富板恭司氏(天学院法務研究科5年修了)
村松和哉氏(天学院法務研究科5年修了)
田中豪明氏(天学院法務研究科5年修了)
江口通崇氏(天学院法務研究科5年修了)

司法試験に合格

景山 里子さん
(法務研究科1年)



景山 里子さん

本年度4月に開設された法科大学院(法務研究科)の1年生景山里子さんが、平成17年度の司法試験に合格した。景山さんは、本学法務研究科の湯浅道男教授(現法務研究科長)のもとで研究生として民法研究および司法試験準備を重ね、この11月に実施された平成17年度の司法試験に最終合格した。来年4月からの司法修習に向け現在準備中である。2年後法曹界での活躍を期待している。

本学初の寄附講座

口腔先天異常
遺伝学言語学講座

本学で初の寄附講座への寄附申し込みが、平成17年11月10日に執り行われた。国連経済社会理事会ロスター協議資格認定法人、特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会 川口文夫理事長(中部電力(株)取締役社長)の代理と

アスベスト対策について

愛知学院大学では、キャンパス内の建物について、吹き付けアスベストの使用実態調査を行いました。その結果、アスベストを含有している吹き付け材が使用されている箇所があり、飛散する恐れがあることが判明しましたので、直ちに飛散防止(囲い込み)の措置を完了しました。また、早い時期に撤去を予定致しております。

場所：日進キャンパス
校友会館(ミルクホール) 屋外階段室天井

して、宮澤宏之理事(中部電力(株)総務部)により小出忠孝学長、亀山洋一郎学部長へ寄附申し込み書が提出された。寄附総額は5年間で最低1,500万円、研究業績等により最高5,000万円が、本学に寄附される。同協会は中部地区唯一の国連認定法人で川口文夫理事長、豊田章一郎氏(トヨタ自動車(株)取締役名誉会長)、西垣寛氏(株)UFJ銀行名誉顧問、谷口清太郎氏(名古屋鉄道(株)相談役)、早川敏生氏(東邦ガス(株)会長)、岡田邦彦氏(株)松坂屋取締役社長、小原敏人氏(日本ガイシ(株)相談役)など中部を代表する経済界の代表により組織されている。

本学では寄附講座制度の発足にともない、本学に事務局があり長年にわたり交流のあった日本口唇口蓋裂協会に対して、産学NGOのモデルとして寄附の依頼を行い、同協会川口文夫理事長が快諾された。今後は口腔先天異常に苦しむ子どもたちの医学歯科学基礎研究や言語訓練、また遺伝子診断力ウーセングなど大学とNGOの協力により種々の臨床研究と実績が期待される。本寄附講座は歯学部夏目長門教授、心身科学部山本正彦教授らを中心に運営される。

平成17年度 クラブ優勝祝賀会



平成17年度クラブ優勝祝賀会が12月7日に開催された。会場となった日進キャンパスの学院会館には、この春から秋まで(一部前年度も含む)の間に課外活動において優秀な成績を収めた団体・個人のクラブ部員をはじめ、大学関係者、大学後援会本部役員など多数の参加者が集まった。

招待の対象となる団体・個人は、団体の部については日本代表、全日本選手権大会8位までに入賞、東日本・西日本大会などの地方大会にて優勝・準優勝、中部・東海大会にて優勝となった団体、また個人の部では団体の部と同等の基準のほか最優秀選手賞やベストナイン表彰を受けた者など、それぞれの活動において顕著な成績を収めた者が選出され、今年度においては合計43団体284名(うち個人招待者76名、および歯学部表彰者32名含む)が招待を受けた。

会は冒頭に小出学長・水谷後援会長から学生諸君に健闘を讃える旨の挨拶が贈られた後、黒神学生部長による乾杯の音頭で、和やかな雰囲気の中で進行されていった。

また、会が懇親パーティーに移ったところで、この秋の明治神宮大会の準決勝進出において全国ベスト4の成績を残した硬式野球部から、中野部長と大野主将が出席者を代表として謝辞が述べられた。

この後、全員での校歌斉唱・森田後援会副会長の発声による万歳三唱などがおこなわれ、盛会のうちに閉会となった。

出席した各クラブの学生諸君については、この日の喜びを明日につなげ、部員一丸となりさらなる成績の飛躍を目指すことを誓ってくれたものと思われる。

団体として優秀な成績を挙げたクラブは左の表のとおり。

クラブ名	年	月/日	大会名	団体成績
合気道部	16	12/4	全国学生合気道演武大会	連盟会長賞
アイスホッケー部	16	9/27	中部学生アイスホッケー選手権	優勝
硬式庭球部	17	6/25	東海大学対抗テニスリーグ戦	優勝：女子
硬式野球部	17	5/30	愛知大学野球 春季リーグ戦	優勝
	17	9/3	愛知大学野球 秋季リーグ戦	優勝
	17	11/12	明治神宮野球大会	準決勝進出：全国ベスト4
準硬式野球部	17	5/28	東海地区大学準硬式野球選手権大会	優勝
	17	8/19	全日本大学準硬式野球選手権大会	ベスト8
柔道部	16	10/10	愛知県学生柔道新人優勝大会	優勝
自動車部	17	5/29	全中部学生ジムカーナ選手権大会	優勝：女子
馬術部	17	6/21	中部学生自馬競技大会	1位：学生賞馬場馬術競技
バレーボール部(男子)	17	6/18	東海大学男子バレーボールリーグ選手権大会(春季)	優勝
競技ダンス部	16	9/23	中部日本学生競技ダンス 八種目戦	優勝：新人戦
ウェイトトレーニング部	16	10/17	中部学生ボディビルディング選手権大会	優勝
ヨット部	17	9/30	秋季中部学生ヨット選手権大会	第1位
日本拳法部	17	10/24	中部日本学生拳法新人戦大会	優勝
洋弓部	17	6/12	東海学生アーチェリーフィールド選抜選手権大会	団体1位
	16	10/3	東海学生アーチェリー新人選手権大会	優勝：男子
射撃部	16	12/4	中部私立大学対抗戦	団体優勝
フライングディスク部	16	9/18	全日本アルティメット選手権 中部地区最終予選	準優勝：男子 第3位：女子
	17	6/5	春季東海地区空手道選手権大会	女子団体組手 優勝
	16	10/11	秋季東海地区空手道選手権大会	準優勝：男子・女子とも
空手道部	17	7/9	全国空手道選手権大会	団体男子 組手3位、形4位
	17	7/9	全国空手道選手権大会	団体女子 組手ベスト8
	17	10/9	秋季東海地区空手道選手権大会	優勝：女子 組手
スイングギョースターズ	17	11/3	第3回東海ビッグバンドコンテスト タチヤCUP	最優秀賞、最優秀アンサンブルパート賞

クラブ名	年	月/日	大会名	団体成績
愛知学院大学歯学部	17	7/29	第37回全日本歯科学生総合体育大会	総合優勝
硬式野球部	17	8/7	第37回全日本歯科学生総合体育大会	3位
	17	1/4	十一歯科大学対抗戦	優勝
スキー部	17	3/20	第37回全日本歯科学生総合体育大会	優勝：男子総合
	17	3/20	第37回全日本歯科学生総合体育大会	優勝：女子総合
	17	3/20	第37回全日本歯科学生総合体育大会	優勝：男子総合
	17	3/20	第37回全日本歯科学生総合体育大会	優勝：女子総合
少林寺拳法部	17	7/31	第37回全日本歯科学生総合体育大会	優勝：総合
ヨット部	17	8/7	第37回全日本歯科学生総合体育大会	優勝：総合
ゴルフ部	17	8/4	第37回全日本歯科学生総合体育大会	3位：総合
空手道部	17	8/7	第37回全日本歯科学生総合体育大会	準優勝：男子団体戦
硬式庭球部	17	8/3	第37回全日本歯科学生総合体育大会	3位：総合
サッカー部	17	8/6	第37回全日本歯科学生総合体育大会	準優勝
	17	8/10	第37回全日本歯科学生総合体育大会	優勝：総合
ボウリング部	17	8/10	第37回全日本歯科学生総合体育大会	2位：団体戦 Bチーム
	17	8/10	第37回全日本歯科学生総合体育大会	3位：団体戦 Aチーム

《授業時間帯》

全学部共通

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限
9:30~11:00	11:10~12:40	50分	13:30~15:00	15:10~16:40	16:50~18:20

《試験時間帯》

全学部共通

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
9:30~10:30	10:50~11:50	50分	12:40~13:40	14:00~15:00	15:20~16:20	16:40~17:40

1限目の開始時間9時30分から60分試験、20分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・授業時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

・試験時間 全学部共通で、1限目の開始時間9時30分から90分授業、10分休憩、昼休み50分。

SIEE世界大会に チャレンジしてみよう



林 克匡 君

SIEEとは、グローバルで活躍するアメリカの非営利団体です。この活動は、大学生が独自性を発揮しつつ事業を立ち上げ、この立ち上げを通じてチームワーク、リーダーシップなどを学ぶ機会を提供しています。

第36回明治神宮野球大会
ベスト4で惜敗

硬式野球部

本学硬式野球部は、愛知大学秋季リーグで優勝し、東海北陸地区代表決定戦でも三重中央大学を破り、去る11月12日から行われた第36回明治神宮野球大会に代表として出場した。1回戦の対大阪体育大学戦で、エースの山名康造君(法3)の投打の活躍で2対1で勝ち、2回戦でも春の覇者青山学院大学戦に、9回山岡義治君(法4)のサヨナラホームランという劇的な勝利で3対2で勝ち、3回戦の九州産業大学戦に勝つと優勝決定戦というところで選手一同健闘したが、有利な試合運びも決定打を欠き、惜しくも0対1で敗れた。今大会は全試合が、1点差ゲームという珍らしい記録も生まれ、各大学との実力差も紙一重。来季の神宮での活躍を期待したい。

道元禪師の「行持道環」

ぎょうじ だうかん

このことばは、『正法眼蔵行持』の巻頭に「仏祖の大道かならず無上の行持あり、道環して断絶せず。発心・修行・菩提・涅槃、しばらくの間隙あらず、行持道環なり」とあります。仏道修行という、一般に、発心して修行して菩提を得て涅槃に入るといふように、涅槃(寂靜なる理想の境地)に到達することを目指して、段階的なものと考えられています。

が、道元禪師は「道環」(仏道は円い輪のようなもの)であると言われます。段階的ではなく円であるというのです。発心・修行・菩提・涅槃、しばらくの間隙あらず」とは、これらが隙間なく連なっているのではなく、別のものではないことを言っています。即ち修行してやがて証(さと)り

文学部 伊藤秀憲

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

最後に、この活動に携わったすべての方々に感謝いたします。ありがとうございました。また、地域からも審査員をしていただいたことにより、より充実したコンテストとなった。

「刺激」があり、本当に有意義な時間を過ごすことができ、自分自身の課題も見つかり一歩一歩クリアしていくことができています。

今回は、参加者も増えレベルも高くなった。また、地域からも審査員をしていただいたことにより、より充実したコンテストとなった。

「成果」をはっきりとイメージすることができました。

「成果」をはっきりとイメージすることができました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。

英語も勉強できるといふことと共に、これまでずっと情熱を注いできたサッカーという「チームスポーツ」で、社会や地域が変わるかもしれないというところに、大きな期待とやりがいを感じました。